

脳・心臓・血管 ワースト脱却処方箋

from 獨協医大



佐久間理吏准教授

心筋梗塞は生命の危機に直結する怖い病気ですが、狭心症というのはその前段階と言えます。心

狭心症

臓の壁を構成する心筋に栄養を送る冠動脈の内側が狭くなったり、血管自体がけいれんを起こしたりすることで血流が妨げられ、心筋が酸素不足に陥るために胸が痛くなるのが狭心症です。

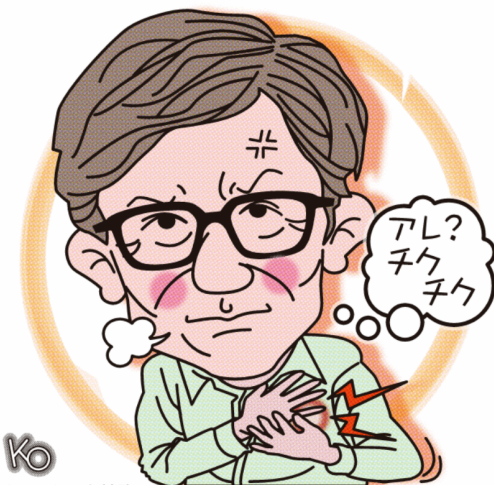
狭心症には労作性狭心症と不安定狭心症、冠れん縮性狭心症(異型狭心症)があります。「階段を上ったり、坂道を歩いたりすると胸が締め付けられるように痛くなり、休憩すると楽になる」。こういうときには労作性狭心症を疑います。

胸痛といっても、圧迫感や締め付け、灼熱感などがあり、痛む部位は前胸部やみぞおち・肩・首・歯・喉に至ることもあります。痛みの続く時間は短く、数十秒から数分までです。一方、糖尿病の患者さんや高齢者に

胸痛、心筋梗塞の前段階

は痛みを感じない人もいます。労作により心筋の酸素の必要量が増えたとき、冠動脈に狭窄があると心筋に十分な血液供給ができなくなり、酸素不足になるため、胸痛が生じます。

「胸痛発作が頻繁になり、労作時ばかりでなく、安静時でも起こる」とときには労作性狭心症から不安定狭心症に移行したと考えます。不安定狭心症は急性心筋梗塞の直前段階と考えられます。



イラスト/ 小林隆一 SHIMOTSUKE GRAPHICS

狭心症の薬物治療としては胸痛発作時のニトログリセリン舌下、胸痛発作予防の内服薬としてβ遮断薬、カルシウム拮抗薬、硝酸薬などが使用されますが、最も重要なのはコレステロール低下薬「スタチン」です。スタチンは動脈硬化の進展そのものを抑え、心筋梗塞発症を予防する優れた薬剤です。また血栓予防のための抗血小板剤アスピリンも重要です。

冠れん縮性狭心症はカルシウム拮抗薬やニコラシジルなどの内服薬で治療します。冠動脈の狭窄に対してはカテーテル治療としてバルーン拡張やステント留置術、冠動脈バイパス術などを行います。もし狭心症を疑う症状がありましたら、かかりつけ医や最寄りの医療機関にご相談ください。

(獨協医大心臓・血管内科学准教授 佐久間理吏)
(毎週金曜日掲載)